



～ありがとう これからも地域とともに～



## 兵庫丹波の森協会ニュース2019



丹波の森構想を推進するため、丹波篠山市・丹波市の出捐により設立された（公財）兵庫丹波の森協会が、丹波の森公苑・丹波年輪の里・ささやまの森公園・丹波並木道中央公園を拠点として、地域の方々との「参画と協働」により2019年に実施した主要な取り組みや事業等をお知らせします。丹波の森づくり（地域づくり）への理解と関心を深めていただくとともに、今年の丹波の森づくりを振り返る資料として発行しました。事業に関するご意見等をお寄せください。

**新**は新規事業、**継**は継続事業です。

### トピックス

#### **新** 丹波から届けた国蝶オオムラサキ ウィーンで次世代に命つなぐ

ウィーンの森を「丹波の森構想」の手本にしようと、丹波地域旧10町の町長が同地を視察訪問したことがきっかけとなり、丹波の森協会とオーストリアの首都ウィーン第13区は、1993年に友好親善協定を結んでいます。

2016年から、兵庫丹波の森協会と市民団体「兵庫丹波オオムラサキの会」は、日本の国蝶オオムラサキを交流のシンボルにすべく、丹波の森公苑で飼育した幼虫や卵を第13区に贈ってきました。

飼育には、世界最古の動物園とされる第13区内の国立シェーンブルン動物園が取り組んできましたが、今年2月28日に同会会員が表敬訪問し贈った幼虫60頭のうち、30頭が生育、一部がサナギとなり、7月初旬にはついに羽化が始まりました。

その後、兵庫丹波の森協会は同動物園と連絡を密に取り合い、約200個の卵も確認。7月26日には幼虫が孵化し、新たな命の誕生までにつなげました。オオムラサキは、日本や中国などアジアには生息していますが、ヨーロッパで繁殖が確認されるのは初めてです。

このことは現地メディアでも取り上げられているほか、同園では、日墺修好150周年を記念して、今年、オオムラサキ専用の展示ケースを設け（在ウィーン日本大使館の支援による）、「ウィーン市と丹波地域の友情の証」と記したプレートとともに市民に公開、丹波のオオムラサキが小さな外交官として活躍しています。

今後、協会と同園は2世の成長、来夏の成虫への羽化を目指して引き続き力を合わせていきます。奇しくも来夏には、ウィーンへの訪問（ウィーンの森親善訪問団・令和2年7月1日～8日・兵庫丹波の森協会主催）があります。異国の地で華麗に羽ばたく丹波のオオムラサキをぜひ現地でご覧ください。



ウィーン市第13区区長表敬訪問



羽化したばかりの丹波産オオムラサキ



「小さな外交官」の現地記事

## 【継】 第10回記念 国蝶オオムラサキ放蝶会を開催

丹波の森公苑では丹波地域の里山に国蝶オオムラサキの舞う姿を取り戻し、良好な里山環境を次世代に繋げていくため、平成19年から専用ケージの中で、準絶滅危惧種の国蝶オオムラサキの飼育に取り組んでおり、平成21年からは飼育したオオムラサキの放蝶会を行っています。

公苑では専用ケージの外でも幼虫が確認されているほか、地域の小学校等においても飼育の取り組みが行われており、少しずつではありますが、丹波の里山にオオムラサキが戻ってきているところです。

今回の放蝶会は、第10回記念となることから、京都大学 西田名誉教授に「みんなで考えようーオオムラサキの7つのふしぎ」と題したご講演をいただくとともに、オオムラサキの飼育に熱心に取り組む丹波篠山市立篠山小学校3年生にその活動の報告をしてもらいました。

報告後は、ホールから管理棟正面玄関に舞台を移し、河合雅雄名誉公苑長をはじめ600人を超える参加者全員で七夕さま等の歌を歌った後、140頭のオオムラサキを公苑の里山へと放蝶しました。

○開催日：7月7日（日）



140頭のオオムラサキが公苑の里山へ



篠山小学校3年生の活動報告



インスタスポットでパチリ！

## 【継】 丹波地域の里山づくり活動団体への支援

「丹波の森宣言」（1988年9月）から30年が経ち、その成果を踏まえ、次の30年に向け、「美しい里山」の大切さを再認識し、次の世代へと繋いでいく取組の一環です。

丹波県民局、丹波篠山市、丹波市および兵庫丹波の森協会で構成された「丹波の里山づくり促進事業実行委員会」では、地域の里山や森林の資源を利用しながら、継続的に手入れをしていくことが重要であることから、里山づくりを行っているモデル林とその里山づくり活動団体を選定しました。これらの里山で実施されている多様な活動を広く市民へ発信するとともに、長期の活動計画の策定、間伐や植栽等の活動に対し、アドバイザーの派遣などにより里山づくり活動を支援しています。

【モデルとなる里山づくり活動団体（2018年度選定6地区、2019年度選定4地区）】

- ・丹波篠山市：NPOバイオマス丹波篠山、上板井自治会、八幡共有山組合、岩崎自治会
- ・丹波市：生郷里山づくり懇話会、平松区森林愛好会、北岡本自治会、下三井庄自治会、バイオマスフォーラムたんば



里山の現況調査



里山づくりワークショップ

## 【今年25周年】丹波の森国際音楽祭シューベルトティアード2019を開催

丹波の森国際音楽祭シューベルトティアードたんばが25周年を迎えました。それを記念して、ミドル・サロンコンサートを開催したほか、初めて県外でのPRコンサートを行うなど、6月7日（金）～11月16日（土）までの期間、25回の多彩なコンサートを開催しました。

今年のテーマ「丹波路に響く秋のヴィオロン」そのままに、フランツを務めたヴァイオリン奏者の釋伸司氏をはじめとした国内外の演奏家が、秋の丹波路に美しい音色を奏でました。

### 【オープニング・コンサート】

「待ちました！シューベルトの秀作 オクテット（八重奏曲）」と題し、10人の演奏家がシューベルト作曲の八重奏曲などを演奏しました。シューベルトの楽曲が美しく響きわたり、参加者に至福のひとときを提供することができました。

- 開催日：9月1日（日）
- 場 所：丹波篠山市立田園交響ホール
- 入場者：376人



### 【ミドル・サロンコンサート】

「どちらがヴィオラ？ヴァイオリン？」と題し、ヴィオラ奏者の中村翔太郎氏とヴァイオリン奏者の釋伸司氏の演奏を中心とした優雅なサロンコンサートを開催しました。

- 開催日：9月28日（土）
- 場 所：お菓子の里丹波ミオール館
- 入場者：182人



### 【ガラ・コンサート】

「25年ぶり！レジェンドと共に来丹」と題し、第1回シューベルトティアードたんばに出演したチェロ奏者のユリウス・ベルガー氏とピアノ奏者のオリヴァー・ケルン氏を海外から招聘しました。出演者の奏でる見事なアンサンブルに会場の盛り上がりは最高潮となり、今年の音楽祭のフィナーレを盛大に飾りました。

- 開催日：11月16日（土）
- 場 所：丹波の森公苑ホール
- 入場者：278人



### 【街角コンサート】

丹波各地10か所の史跡やお寺、里山、公共施設等を会場に、地域の特色を生かしたコンサートを開催しました。丹波地域の住民が中心となり企画・運営するこのコンサートにより、改めて丹波のよさを発見しました。

### 【ふるさと音楽ひろば】

丹波地域の小学校10校にプロの音楽家を派遣し、演奏会とワークショップを開催しました。子どもたちは一緒に歌ったり、踊ったりして演奏を楽しみました。

### 【キン・コン・カン・コンサート】

丹波地域の中学校2校にプロの音楽家を派遣し、演奏会を開催しました。楽器の美しい音や、音楽家の演奏技術を身近に感じることができました。

### 【PRコンサート】

初めての県外でのPRコンサートを東京都など5都市で行ったほか、県内各地でもPRコンサートを開催しました。県内外から、クラシックファンなどの観光客が丹波地域にたくさんお越しくださいました。

## 新 丹波における伝統文化体験フェスティバルを開催

子どもたちが伝統文化に対する関心と理解を深めることができるように、子どもたち（親子連れ）が、様々なジャンルの伝統文化を体験できるプログラムを軸に、大人にも伝統文化の素晴らしさを実感してもらえる機会とするため、開催しました。

複数の伝統文化を体験できるよう、各団体が生け花、書道などのブースを設置し、参加者がめぐる形式をとりました。また、会場の一角にステージを設け、舞踊や和楽器の演奏などの実演を見る場も設けました。

○開催日：8月4日（日）

○場 所：丹波の森公苑多目的ルーム

○来場者：約350人



ステージでの民謡演奏



生け花の体験ブース

## 新 <sup>もりもり</sup>「森守の小屋」でウッドワークショップをオープン【ささやまの森公園】

「親しまれる公園」「あの公園に行けば何かがある」「楽しいアイデアがいっぱいの公園」と言われる公園づくりを目指し、8月24日（土）にウッドワークショップをオープンしました。

木工プログラムのミニ版で、オープン日にはいつでも木工を体験することができます。

身近で手ごろな材料と道具で「作ることの楽しさ」や「加工・表現方法」を体験していただくことで、自然の豊かさや大切さを実感していただけることを願っています。



「森守の小屋」の外観



体験風景

**新** 「世界有数の恐竜・化石発掘現場 なみきみち」恐竜パーク拠点事業を展開  
【丹波並木道中央公園】

平成26年度に丹波県民局が策定した「丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム構想」の中核施設として本公園が位置付けられていることから、恐竜パーク拠点づくりを進めています。

3月22日（金）には、恐竜・トロオドンの新しい展示物を県民参画型で製作しました。本公園で発見されたトロオドンが羽毛をもつ恐竜と言われていることにちなみ、羽根のデザインを考えるワークショップ「みんなで恐竜の羽根に色をぬろう！」を実施しました。色とりどりに彩色した羽根を恐竜オブジェに貼り付け、管理棟ロビーの常設展示として完成させました。

また秋には公園を拠点に、丹波地域の化石発掘と研究の最前線を知ることができる催しも開催されました。10月22日（火・祝）には専門家の現地解説付き「発掘調査実況ツアー！！2019」を、11月17日（日）と24日（日）には小学1年生以上から参加できる「岩石を割り、化石を取り出す特別講座2019」が実施されました。いずれも主催は丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会で、講師に兵庫県立人と自然の博物館や丹波篠山市立太古の生きもの館の化石分野の専門家を招いて行われました。

このように本事業では、地域の関連団体・施設と連携しながら、協働で拠点づくり事業を進めています。



ワークショップ



完成した恐竜「トロオドン」のオブジェ

## 森林文化（地域づくり）の創造

「丹波の森構想」の普及・啓発のための人材養成、丹波の森づくり推進施策に基づく事業を行うことにより、丹波の森構想の理念である「自然とともに生きる地域社会の実現」をめざしました。

### 📌 丹波の森大学を開講

丹波の森構想策定から30周年を機に宣言の理念をしっかりと受け継ぎながら社会環境やライフスタイルの変化をふまえた新しい丹波の地域づくりが始まりました。丹波の森大学も、新しい時代の中でより実践的な学習に場として、多彩な講師陣による講義と現地学習を交えた講座を展開しました。

学習の基本テーマを「多世代の森」とし、若者から高齢者まで様々な世代の方のくらしと丹波の森との関わりを学びました。第7回の現地学習では岡山県英田郡西粟倉村へ出向き、閉校になった小学校でうなぎを養殖している企業の取り組みを聞き、「森のうなぎ」の養殖場を見学しました。

○開催期間：5月18日（土）～令和2年1月18日（土）全9回（うち1回現地学習）

○場 所：丹波の森公苑セミナー室、多目的ルーム、丹波篠山市民センター

○受 講 生：44人



講義



「森のうなぎ」養殖場見学

### 📌 川代トンネル開通記念ウォーク 丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会

新たな恐竜化石産出地とされた「川代1号トンネル」を開通前に歩いて見学できる「川代トンネル開通記念ウォーク」を開催しました。

フィールドミュージアム推進協議会募集の一般参加者と地元参加者の約700人が開通前の川代1号トンネル（往復1.8km）を歩いて見学し、楽しめました。

トンネル内では丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムのプロモーションビデオ、川代溪谷や恐竜の映像を上映し、農村風景の中から恐竜化石が発見されるという希少な地域の魅力を発信しました。

○開催日：3月17日（日）



トンネル内で映像を上映



トンネルウォーク受付の様子

## 📌 丹波の森ミニガーデンを開催

「丹波の森ミニガーデン」は、花と緑の美しい地域づくり活動の普及啓発を図るとともに、昨年県政150周年ならびに丹波の森づくり30周年記念イベントの一環として実施されました。

丹波の森づくりの一翼を担ってきた身近な庭を花で彩り、地域を活性化する「たんばオープンガーデン」が春4月、5月に開催されることから、丹波の森ミニガーデンは秋10月に開催されました。

丹波地域の住民団体が参加する制作・展示イベントです。制作にあたっては、オープンガーデン参加者や花づくりの愛好家グループ、また高校生などの皆さんから広く募集し、今年度は6つのミニガーデンが展示されました。

○開催日：10月19日（土）～10月27日（日）※10月27日は丹波の森フェスティバル開催日



丹波の森ミニガーデン展示の様子



同時開催の寄せ植えコンテストの様子

## 📌 2019丹波の森フェスティバルを開催

真の豊かさの実現をめざす生活創造活動を通じて丹波の森づくりが幅広く展開されるよう、住民主役の活動と交流を図る様々な事業を進めており、活動成果の発表や交流の場として、2019丹波の森フェスティバルを開催しました。

今年度も、昨年度に引き続き丹波GOGOフェスタ、丹波市産業交流市と同時に開催し、「カワイイ。おいしい。ハロウィンの森」をテーマに、芝生広場をハロウィンの森に変身させ、パンやお菓子の販売、ワークショップやステージなどを実施したところ、19,000人の来園者がありました。子どもから大人まで、ゆっくりと笑顔で楽しめる1日となりました。

○開催日：10月27日（日）



ハロウィンの森の会場



じゃんけん大会の様子

## 【継】 「さわってみ 丹波いきもの大集合」の開催

丹波の森公苑では、良好な里山環境を次世代につなげていくため環境学習推進事業に取り組んでいます。今夏、地域のショッピングセンター（丹波ゆめタウン）を会場として、丹波地域子どもたちと保護者を対象に、オオムラサキを中心として、ドジョウ、イモリ、サワガニといった自然の生物に直接触ってもらい、丹波地域の生態等について幅広く学ぶ機会を設けました。

丹波の森公苑の他、兵庫県立人と自然の博物館、動物や虫等の保護活動に取り組む市民団体「兵庫丹波オオムラサキの会」、「丹波地域のホトケドジョウを守る会」と合同で企画しました。

会場の「タッチコーナー」では、蚊帳の中のオオムラサキやカナブンなどの昆虫や、ミニプール内のアカハライモリ等、約10種類のいきものに親しむことができ、家族連れを中心に2日間で370人が参加。実際に手で触れ、実物が目の前で動く迫力に子ども達の大きな歓声が響きました。

○開催日：7月14日（土）～15日（日）



丹波のいきものにさわってみ



オオムラサキとのふれあい



カブトムシの拡大模型

## 【継】 ゴールデンウィークフェスタ2019開催【丹波年輪の里】

親子木工教室「ウッドモザイクのコースター作り」や、竹とんぼ名人に教えてもらう「竹とんぼ作り教室」、想像力をはたらかせて色々なものを作る「端材で遊ぼう!」、木工指導員やサークル参加者による「アトリ作品展」、木工家たちが丹精込めて制作した木の椅子が大集合する「座っ展2019」、木工家たちによる展示販売を行う「丹波ウッドワーカーズクラフト」など、丹波地域周辺で活動する木工作家のPRの後押しとなるイベントを開催しました。

来場者数7,624人（10日間総合人数）と、多くの地域の方との文化交流が行われました。

○開催日：4月27日（土）～5月6日（月）※期間中休館日なし



丹波ウッドワーカーズクラフト



アトリ作品展



座っ展2019

## 【春・秋の里山まつりを開催【ささやまの森公園】】

春の桜満開の頃と、秋の黄葉の頃にボランティアスタッフや地元団体による体験コーナーやバザーなど、手づくりイベントの里山まつりを実施しました。木エクラフトなどの体験や食文化の提供を通じ里山と親しんでもらい、ふれあいや交流が持てました。

また第5回目となる写真コンテストでは、「里山の自然・いきもの」をテーマに作品を募集したところ、17点の応募があり、厳正なる審査の結果、入賞作品3点が選ばれ、秋の里山まつりで展示と表彰式を行いました。里山の自然や文化を描写した写真を通して、多様な生物が生息する豊かな里山づくりの推進にふれる機会となりました。

○開催日：春の里山まつり 4月14日(日)  
秋の里山まつり 11月10日(日)



春の里山まつり 木エクラフト体験



写真コンテスト表彰式

## 【森の学校 第12期生の活動【ささやまの森公園】】

今年度で12回目を数える「森の学校」では、豊かな自然の中でさまざまな体験活動を通じて、たくましく生きる力を育てることを目的に、小学3年生～6年生の20人が1年間、宿泊キャンプ、こんにやく作り、深山登山など、さまざまな自然体験活動をしました。

回を重ねるごとに、みんなたくましく成長していきました。

○開催期間：5月11日(土)～令和2年3月7日(土)全10回



自然観察



宿泊キャンプ

## 【第8回丹波なみきみちまつり2019「収穫祭」を開催【丹波並木道中央公園】】

毎年恒例の本イベントは、丹波地域の秋のめぐみを味わう催しです。地域のみなさんにご協力いただき、公園の棚田で収穫した赤米や黒豆のポン菓子、お餅つき、丹波うまいもん市、軽トラ市など、美味しいものを満喫できる様々なコーナーを設けました。

また、公園の楽しみ方をPRする取り組みとして、通年で定期開催している体験講座なども実施しました。公園の間伐材を使ったクラフト、丸太切り体験、化石発掘体験、フラワークラフト、丹波茶飲み比べ体験など多様なコーナーを1日で楽しんでもらえる特別な日です。

本イベントは、公園周辺の住民組織をはじめ、公園で活動しているグループ等と連携し、実行委員会形式で開催しているのも特徴です。来園者は、この1日で7,410人、体験コーナーは855人と、たくさんの方に楽しんでいただくことができました。

○開催日：10月6日（日）



赤米餅つき



丹波うまいもん市、軽トラ市

## 【自然環境づくりを先導する人材「モリビト」育成拠点事業を展開

【丹波並木道中央公園】

地域と連携し、人材「モリビト」を育てるために、公園を拠点に各種事業を展開しました。

丹波篠山市と協働で5月5日（日）に「GO！GO！里山の日」を開催し、公園の樹木で体験するツリーイングや、園内の間伐材を活用した木エクラフト体験などを実施しました。また、里山管理の人材育成事業「里山スクール」ではチェーンソーの実技講習会等を行いました。

また、企業との連携事業の一つとして、住友ゴム工業株式会社は、丹波地域で拾ったどんぐりを種から育て、本公園に植樹する「どんぐりプロジェクト」を通年で展開してくださっています。



「里山スクール」チェーンソー講座



植樹活動「どんぐりプロジェクト」

## 生活創造活動への支援

芸術文化、環境、消費生活、健康、福祉等の様々な分野にわたる生涯学習、地域づくり活動その他の活動であって、豊かな生活を創造するための県民の主体的な活動を支援し、生活創造活動に係る情報を提供することにより丹波の森構想の理念である「活力ある開かれた地域社会の実現」をめざし事業を取り組みました。

### 丹波OB大学・大学院生が地域で活躍！

#### 丹波OB大学

丹波OB大学では、地域実践の日（7月10日（水））を設定し、管内7カ所の事業所等で、地域貢献の活動を行いました。

丹波篠山市の篠山城跡二の丸庭園、丹波市市島町の特別養護老人ホーム丹寿荘、同市春日町の春日育成苑、同市青垣町の青垣診療所、同市氷上町の中央図書館、同市柏原町の柏原福祉センターの各施設では、除草作業などの美化活動を行い、施設の方や利用者みなさんに感謝をしていただきました。

また、丹波市山南町の老人保健施設さんなん桜の里では、歌や手品・紙芝居などを通じて利用者みなさんと交流を図り、喜んでいただきました。



除草作業（篠山城跡二の丸庭園）



交流活動（さんなん桜の里）

#### 丹波OB大学大学院

丹波OB大学大学院では、1年生は、丹波市青垣町の青垣翁三番叟、丹波市柏原町の石見神社と囲碁ポール、丹波市氷上町の小春ロードについてフィールドワークを行いました。

2年生は、「傾聴ボランティア『虹』」を立ち上げ、丹波市内在住の一人暮らしや施設に入所している高齢者、介護している人などを対象に、傾聴のボランティア活動を行いました。



大学院1年生の活動



大学院2年生の活動

## ❶ 生活創造活動グループのイベント等を支援

丹波の森公苑では、生活創造活動グループサポート制度に登録したグループが行うイベントを支援しています。今年は、物づくり体験やワークショップを中心としたマルシェ、ノルディックウォーキングや気功体験、浴衣を着て中庭でランウェイを行うなど、8件の多彩なイベントが開催され、幅広い年代の参加者でにぎわいました。



親子で楽しい♪春のワークショップ



浴衣でショー



初夏の健康気功体験教室

## ❷ 講座「丹波学」 戦略のクロスポイント「丹波」～権力者たちの見たもの～

今年度の講座は、「戦略のクロスポイント「丹波」～権力者たちの見たもの～」をテーマとして開講しました。

中世から近世にかけて、権力者たちにとって常に戦略・流通の要衝であり続けた丹波の地で、たくましく生き抜いた人々の熱い息づかいを感じることで、丹波の誇れるものや受け継がれるものが何かをあらためて学ぶ機会となりました。

○開講日：8月31日(土)、9月14日(土)、10月5日(土)、  
11月9日(土)、12月21日(土)の5回

○場 所：丹波の森公苑 多目的ルーム

○受講者：133人



講座の様子

## ❸ 丹波の森子どもミュージカル体験塾発表公演

丹波の森子どもミュージカル体験塾では、7月25日(木)から10月19日(土)まで15回のレッスンを行い、丹波地域の小・中学生31人の子どもたちが、劇団ウエスト(大阪府豊中市)の劇団員による指導を受けました。

レッスンにより鍛えられ、磨き抜かれた塾生のダンスや歌唱、演技に、ホール全体が魅了され、多くの来場者に感動を届けることができました。

○開催日：10月20日(日)2回公演

(1回目10:30開演、2回目13:30開演)

○場 所：丹波の森公苑ホール

○出 演：令和元年度丹波の森子どもミュージカル体験塾生(31人)  
劇団ウエストの劇団員

○演 目：魔法使いの夏休み

○入場者：591人(2回公演の合計)



子どもミュージカル発表公演

## 【アート・クラフトフェスティバル in たんば2019開催】【丹波年輪の里】

全国各地から約170人のクラフト作家による木工や陶芸、ガラス、染織など様々なジャンルの作品が  
出展されました。

約18,000人の来場者があり、出展者と来場者同士の交流が生まれました。地域の文化的向上と、  
全国への文化情報の発信により工芸・美術の振興を図る一大イベントとなりました。

○開催日：10月5日（土）、6日（日）



## 【第32回丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ大賞展）開催】【丹波年輪の里】

丹波の森ウッドクラフト展は、今年度で第32回を迎える全国公募展です。

一般の部は全国15の都道府県から84点、ジュニアの部では165点の作品の応募があり、今年も多  
くの方々から、木に親しみ、自らの手でものを作り出す創作の喜びあふれる作品の出展がありました。

また、展示会には一般の部4,833人、ジュニアの部1,184人、計6,017人の来場者があり、  
木の温もりや手作りの良さを再発見していただく機会にもなりました。

木工を楽しみ、また木作品を鑑賞することは、森や自然環境のことを考えるきっかけにもつながり、  
そういった「木育」の観点からも、今後ともこの公募展のますますの発展を目指していきます。

○開催日：一般の部：9月22日（日）～10月6日（日）  
ジュニアの部：10月27日（日）～11月10日（日）



一般の部 グランプリ作品



ジュニアの部  
グランプリ作品

## 利用者の状況 (2019年1月～11月末現在)

【丹波の森公苑】	239,384人
【丹波年輪の里】	75,936人
【ささやまの森公園】	16,255人
【丹波並木道中央公園】	139,503人

### 公益財団法人 兵庫丹波の森協会

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原 5600  
TEL 0795-73-0933 FAX 0795-72-5164  
URL <http://www.tanba-mori.or.jp/koukai>  
E-mail [mori-kyokai@tanba-mori.or.jp](mailto:mori-kyokai@tanba-mori.or.jp)

### 丹波の森公苑

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原 5600  
TEL 0795-72-2127 (代表) FAX 0795-72-5164  
URL <http://www.tanba-mori.or.jp/>  
E-mail [morikoen@hk.sun-ip.or.jp](mailto:morikoen@hk.sun-ip.or.jp)

### 丹波年輪の里

〒669-3312 兵庫県丹波市柏原町田路 102-3  
TEL 0795-73-0725 FAX 0795-73-0727  
URL <http://nenrin.org/>  
E-mail [mail@nenrin.org](mailto:mail@nenrin.org)

### ささやまの森公園

〒669-2512 兵庫県丹波篠山市川原八幡谷 511-1  
TEL 079-557-0045 FAX 079-557-0201  
URL <http://www.sasayamanomori.jp/>  
E-mail [csr@sasayamanomori.jp](mailto:csr@sasayamanomori.jp)

### 丹波並木道中央公園

〒669-2221 兵庫県丹波篠山市西古佐 90 番地  
TEL 079-594-0990 FAX 079-594-0991  
URL <http://www.hyogo-park.or.jp/tanba>  
E-mail [namikimichi@tanba-mori.or.jp](mailto:namikimichi@tanba-mori.or.jp)